

「水循環」と企業の役割

水循環 ACTIVE

「水循環に思いをはせる日」 記念日登録と関連イベントの開催

東亜グラウト工業(株)

1 なぜ企業が 「記念日」を登録したのか

当社はインフラメンテナンス事業・防災事業などの国土強靱化に資する事業を展開する建設・施工会社です。特に下水道管路の維持管理事業は長らく手掛けており、主力事業の一つです。近年では、下水道管路のメンテナンス事業だけでなく水道管路の維持管理分野にも進出し「水」の分野で存在感を高められるよう事業展開を続けています。

安心安全な水を使用して再び綺麗な状態にして自然へ返すためには、浄水場・処理場の整備から、水を運ぶ上下水道管路の維持管理まで、水インフラ全体で健全な水循環システムを構築し継続することが必要不可欠です。これは自治体や企業、関連団体など、数多くの関係者の支えにより成り立っています。

しかし、これらのインフラに関しては一般の方々にとって「あって当たり前」の認識が強いと思います。災害発生時にインフラが危機的状況に陥り、直接的に自分自身へも影響が及ぶようなことがあ

れば、インフラが自身にも関係があることだと認識して重要性を理解することができるでしょう。ただ、日々の生活のなかでインフラの重要性や貢献度を可視化することは難しいのが現状ではないでしょうか。

そこで当社は、健全な水循環システム構築の大切さを認識していただくため、2021年に11月8日を「水循環に思いをはせる日」として(一社)日本記念日協会に申請し、認定登録をしていただきました(写真-1)。本記念日には①水インフラの置か



写真-1 水循環に思いをはせる日「記念日登録証」授与のようす

れている状況を見つめ直す、②水インフラの大切さに気付いてもらう、③水インフラに携わる方々へ敬意と感謝を表す、④安全・安心で健全な水循環システムと暮らしを守るという意味・決意を込めています。この記念日の申請登録にあたっては、当社のみでなく水業界全体にフォーカスが当たるような内容となることを意識しました。

2 中学生と「当たり前を支える仕事」を考える

本記念日登録に関連して、水循環や健全な水循環システム構築の大切さを認識していただくために毎年継続的にイベントを実施しています。イベント開催にあたっては、水業界以外の方へのアプローチを特に重要視し「水業界以外の方を巻き込んだイベントにすること」を意識しています。

2023年には東京都内の中学校にて水循環をテーマに出前授業を行いました(写真-2)。その際には当社だけでなく、同じく水インフラを支える会社である㈱フソウと前澤工業㈱の3社合同で実施しました。当社は下水道管や水道管の維持管理を主な事業としていますが、浄水場や下水処理場などの管路以外については専門外です。そのため複数の企業で協力して実施することで、水循環を健全に回すための全体像を伝えられるようにしました。また下水道管を更生する技術など各社の最新技術を紹介し、水循環を支える「仕事」やその現場で働く「人」についても理解を深めていただきました。

参加した生徒たちは、自分たちの生活に水が欠かせないことを改めて認識することで、普段は目に見えず意識していなかった水循環の大切さを実感できたようでした。そのため、授業後のアンケートでは「水について努力して技術を開発している人がいてすごい。知識を深めたいと思った」「普段当たり前に使っている水

が恵まれていることだとわかり、これからは大切に使っていきたいと思った」などの感想が記されました。また担任の先生からも「また出前授業を実施してほしい」と次回につながるお言葉をいただきました。

3 市民と企業と一緒に、水循環の大切さを考える

2024年には神奈川県逗子海岸にて、水循環を活動指針に掲げる地元のボランティア団体とともに海岸清掃活動を実施しました(写真-3)。これは、水循環にとって大きな役割を占める海を清掃



写真-2 水循環についての出前授業



写真-3 逗子海岸の清掃活動

することで、健全な水循環システムの構築に少しでも貢献したいという思いで実施したものです。社長はじめ当社社員8名が、約80名の市民とともに河口に溜まる流木を撤去したり、道端に落ちるプラスチックごみを拾ったりと汗を流しました。

また清掃後は、当社社長やボランティア団体代表らと「美しい海のための水循環」をテーマにしたパネルディスカッションを行いました。当社から、日本がいかに水資源に恵まれた国であるか、そのうえで解決しなければならない課題は何か、企業・自治体・個人が取り組むべきことは何か等を話題提供し、それに対して両者が意見を出し合いました。さらに会場の市民も巻き込み、それぞれが異なる立場で、健全な水循環システム構築のためにできることは何かを真剣に考えました。市民を含めた活発な意見交換の場となりました。

このようすは当社ホームページ特設サイトやYouTubeチャンネルにアップしており、イベント後も水循環や健全な水循環システム構築の大切さを伝えていくため情報展開を行っています。



東亜グラウト工業HP
特設サイト



YouTube チャンネル

4 「水循環に思いをはせる日」と今後の展望

2023年には「水循環に思いをはせる日」の記念日登録にかかる一連の活動が、水業界を盛り上げた活動である点などが評価され、第25回日本水大賞・経済産業大臣賞を受賞しました。また2024年には内閣官房水循環政策対策本部が認証する「水循環ACTIVE企業」に認定いただきました。

このように、水循環や健全な水循環システム構築の大切さを認識していただくための当社の取り組みは、外部からも評価をいただいております。評価や注目を集めるような活動を今後も継続することで、結果的に水循環の大切さの認知が向上するように創意工夫して取り組んでまいります。

11月8日の水循環に思いをはせる日を起点としたイベントは、より広く情報展開ができるよう取り組みを継続していく所存です。特に学生に対する出前授業については、今後も対象や内容の幅を広げて実施する予定です。

水循環が今後も健全に維持されるように当社も取り組みを進めていくことを宣言するとともに、健全な水循環システム構築の大切さへの理解・認知の輪が今後も広がることを願っています。



E-mail でも待ってるよ!!

本誌に対するご意見・ご感想をお寄せ下さい。
本誌で取り上げてほしい企画や情報、本誌の好きなコーナー・嫌いなところ、下水道事業に関わ
るご要望などご意見・ご感想をお気軽に。Eメールでもお待ちしております。

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-3
(第1 富澤ビル)

環境新聞社「月刊下水道」編集部

TEL.03-3357-2301 / FAX.03-3351-1939

E-mail : gesui-hensyu @ kankyo-news.co.jp